

2023年度 日本工学院専門学校											
マンガ・アニメーション科四年制											
アニメ制作実習 5 B											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	山内尚樹			実務経験	有	職種	アニメーター				
授業概要											
アニメーションにおける作画・演出技法を実際の映像作品を鑑賞しながら解説し下記の2点を主軸に進める。 ・授業テーマに合わせたアニメーション作品を鑑賞し、その手法を知識として実践に応用していく術を学ぶ。 ・新旧アニメーション作品の中から評価の高い作品を分析し、市場価値やコンテンツとしてのあり方・商法を学ぶ。											
到達目標											
原画作業においてカットに求められる必要なカメラワーク指示ができ、2次元フレームで透視図法を用いて適切なレイアウトが描けるようになる。 それらを反映した各自の就職用作品集（ポートフォリオ）の完成と就職内定をとる。											
授業方法											
アニメーターとして求められる標準技術習得を目的とした 演出力・作画能力の向上を図るため、レイアウト（画面構成）を中心にカメラワークや必要な知識を学ぶ。											
成績評価方法											
試験・課題 50% 課題毎に提出。試験課題・点数により評価 成果発表 00% 平常点 50% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
毎回回の課題が用意されるため、遅刻・欠席をしないよう心掛けること。 授業内容が課題・添削・提出のため極力自身から積極的に先生へ質問・提出をするよう心掛けること。 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
毎回授業課題を配布。必要に応じて映像資料も使用。											
回数	授業計画										
第1回	技量確認試験/前年度の習得技術確認・疑問点を鮮明化し、就職指導する										
第2回	映像研究/過去の優れた作品から技術・演出技法について考察する										
第3回	透視図法 1 / 1 点透視図法の説明・実技										
第4回	透視図法 2 / 2 点透視図法の説明・実技										
第5回	透視図法 3 / 3 点透視図法の説明・実技										
第6回	透視図法 4 /透視図法の応用・課題提出										

2023年度 日本工学院専門学校	
マンガ・アニメーション科四年制	
アニメ制作実習 5 B	
第7回	カメラのレンズや画角 1 / 広角レンズによる演出技法
第8回	カメラのレンズや画角 2 / 望遠レンズによる演出技法
第9回	カメラのレンズや画角 3 / 被写界深度について
第10回	カメラのレンズや画角 4 / レンズ効果について応用・課題提出
第11回	カメラワーク技法 1 / タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 1
第12回	カメラワーク技法 2 / タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果） 2
第13回	カメラワーク技法 3 / タイムシートの説明（撮影指示・特殊効果）・課題提出
第14回	芝居の概念・タイミング 1 / アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現 1
第15回	芝居の概念・タイミング 2 / アニメ演出から見る芝居と撮影によるスピード表現・課題提出